

平成28年度

第9回

耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業

応募要領

一般社団法人全国農業会議所

全国農業新聞

1. 目 的

耕作放棄地の発生防止と解消は、日本農業が当面している諸問題の中でも対応が急がれる重要課題です。

耕作放棄地の発生防止と解消のためには、農業者をはじめ行政機関、農業団体などすべての関係者が、農地を社会共通資本として大切に保全管理し、有効利用するという気運を醸成することが重要です。

本事業は、農業・農村現場において耕作放棄地の発生防止・解消活動を展開する団体等でその取り組みや成果が他の模範となる者を顕彰し広く普及することにより、今後の耕作放棄地の対策の促進に寄与しようとするものです。

2. 名 称

第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業

3. 主 催

一般社団法人全国農業会議所
全国農業新聞

4. 後 援

農 林 水 産 省

5. 応募資格

概ね3年以上にわたり、耕作放棄地の発生防止・解消活動を実施している農用地利用改善団体、集落営農組織、農業委員会、JA、農業法人、農業参入企業、NPO法人、市町村農業公社、土地改良区、市町村等の活動主体（個人は対象としない）とします。

第1回から第8回までの表彰事業において農林水産大臣賞、農村振興局長賞、全国農業会議所会長特別賞を受賞した組織は応募できません。

6. 応募の方法

応募は自薦・他薦を問わず広く公募することとし、応募申込者は別紙様式1の応募申込書および活動実績報告書により必要事項を記入の上、紙媒体および電子媒体を都道府県農業会議に提出して下さい。電子媒体は、E-mailへの添付、CD-RやUSBメモリの郵送などによって送付して下さい。なお、当該団体の規約及び直近の総会資料等を添付してください。

応募申込書および活動実績報告書は正副2通を提出し、1通は都道府県の選考委員会、他の1通は中央審査委員会の審査資料になります。

応募申込書および活動実績報告書は返却いたしません。

7. 応募締め切り

平成28年6月30日（木）までに都道府県農業会議に提出して下さい（郵送の場合は平成28年6月30日（木）郵便局消印のあるものまで受け付けます）。

8. 審査方法

（1）都道府県農業会議の推薦

前記6によって提出された管内の活動のうち、「農業委員会（分類1）」、「農業法人、農業参入企業（分類2）」、「その他（分類3）」の3つの活動主体分類ごとに最も優れたものを都道府県農業会議において選定し、別紙様式2により平成28年8月31日（水）までに（一社）全国農業会議所に推薦して下さい。

第1回から第8回までの表彰事業において推薦した組織を再推薦する場合はその理由を記載して下さい。

都道府県農業会議は、必ず選考委員会を設置して選定して下さい。なお、設置にあたっては、「耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業中央審査委員会内規」に準じて「都道府県選考委員会内規」を作

成し、それに基づいて審査にあたって下さい。(一社)全国農業会議所に送付する際には、都道府県内の応募状況が分かる資料を併せて送付して下さい。

(2) 全国表彰者の選定

都道府県農業会議から推薦を受けた(一社)全国農業会議所は、中央審査委員会において審査を行います。また、審査を円滑に進めるため、中央審査委員会のもとに小委員会を置き、小委員会において書類審査・現地審査を行い、複数点を各賞候補として中央審査委員会に推薦します。中央審査委員会は小委員会から推薦された複数点の候補から各賞を決定します。

9. 選定基準

耕作放棄地の発生防止・解消活動が、地域の農地の利用促進や保全管理において大きな役割を果たし、他地域での実践の模範となって波及効果が期待でき、次の選定基準のいずれかに優れた成果をあげているものを選定します。具体的な選定基準は次の通り。

- ①耕作放棄地の発生防止・解消のための活動体制を整備し、啓発活動や実践活動を通じて地域の農地の利用促進等を継続的に図っていること。
- ②耕作放棄地の発生防止・解消活動による成果として、担い手への農地利用集積等の実績を上げていること。
- ③新規作物や地域特産物を導入する等により地域農業の発展に寄与していること。
- ④耕作放棄地の発生防止・解消活動を契機として、農業体験活動や都市農村交流、等が推進され地域の活性化に結びついていること。
- ⑤地域の農業者や住民による活動により、農業・農村の有する多面的機能の適切かつ十分な発揮に結びついていること。

⑥飼料作物の生産や放牧利用、緑資源の確保等に結びついていること。

⑦その他、耕作放棄地の発生防止・解消に寄与していること。

10. 表 彰

(一社)全国農業会議所が平成29年5月末に開催する「全国農業委員会会長大会」において表彰を行います。

農林水産大臣賞	1点
農村振興局長賞	1点
全国農業会議所会長賞	8点
全国農業新聞賞	都道府県代表

ただし、全国農業会議所会長賞の中で特に優れたものがあれば、全国農業会議所会長特別賞を出すことができます。

農林水産大臣賞、農村振興局長賞、全国農業会議所会長賞（特別賞を含む）の受賞者の代表者1名を全国農業委員会会長大会に招待します。

11. 発 表

表彰された活動は全国農業新聞の紙面に掲載するとともに、「耕作放棄地発生防止・解消活動事例集」を作成し、関係機関・団体に配布します。

(別紙様式1)

第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業 応募申込書

平成 年 月 日

都道府県農業会議会長 殿

所在地 〒

団体等名

代表者名 印

(一社)全国農業会議所・全国農業新聞が実施する第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業に応募したく、活動実績報告書を添えて申し込みをいたします。

記

1. 活動実績報告書 正副2通

第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業実績報告書

1. 市町村の概況

①市町村名		③耕地面積	h a
②農業地域類型区分（該当に○印、複数可）	1. 都市的地域 2. 平地農業地域 3. 中間農業地域 4. 山間農業地域	④耕作放棄地面積 荒廃農地調査A分類 （農地法第32条第1項1号遊休農地）を記入して下さい。	h a
⑤市町村農業の説明（地域の自然的および経済的条件について、特記すべき事項を説明して下さい。複数の市町村に活動がまたがる場合は、活動の中心となる市町村についてのみ記載して下さい）			

2. 活動の概要

①活動主体名 (事務局：) ※〇〇協議会等、既存の主体が集まっている場合は、事務局を記入して下さい。	②活動地区の類型区分 (該当に〇印、複数可) 1. 都市的地域 2. 平地農業地域 3. 中間農業地域 4. 山間農業地域																												
③活動地区 (該当に〇印、 () には具体的な地区名を記入) 1. 当該市町村の全域 2. 当該市町村の一部 () 地区 3. 当該市町村外の特定地区 () 地区	④活動地区の耕地面積 <div style="text-align: right; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 耕地面積 ha </div> <div style="text-align: right; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 耕作放棄地面積 ha </div>																												
⑤実施期間 (通算) 年 月 ~ 年 月 (通算 年) ※ 概ね3年以上の継続的な活動があること。																													
⑥耕作放棄地解消面積																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 10px;">合計面積</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 10px;">ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">(内 訳)</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">組織</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">期間</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">品目</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">面積</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">年 月 ~ 年 月</td> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">年 月 ~ 年 月</td> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">年 月 ~ 年 月</td> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">年 月 ~ 年 月</td> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">ha</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(その他)</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">年 月 ~ 年 月</td> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">ha</td> </tr> </table>		合計面積	ha	(内 訳)		組織	期間	品目	面積		年 月 ~ 年 月		ha		年 月 ~ 年 月		ha		年 月 ~ 年 月		ha		年 月 ~ 年 月		ha	(その他)	年 月 ~ 年 月		ha
合計面積	ha																												
(内 訳)																													
組織	期間	品目	面積																										
	年 月 ~ 年 月		ha																										
	年 月 ~ 年 月		ha																										
	年 月 ~ 年 月		ha																										
	年 月 ~ 年 月		ha																										
(その他)	年 月 ~ 年 月		ha																										
※活動主体が市町村、農業委員会、協議会等の場合には、内訳の欄にどういった組織・担い手等農業者が何年度に何を作付けし、何ha解消したかを具体的に記載して下さい。その際、内訳面積の合計と「合計面積」を一致させてください。明記できない面積がある場合は、その他として記述してください。																													

<p>⑦地域における担い手への利用権設定の状況 (農業経営基盤強化促進法による)</p>	<p>面積 h a 農地面積の %</p> <p>※ 活動主体が市町村、農業委員会、協議会等の場合は記載して下さい。参入法人等経営体の場合は、記載しなくてもかまいません。</p>
<p>⑧活動主体の取り組みで未然に耕作放棄を防止した農地面積(耕作放棄防止面積)と取り組みの内容(農地利用集積等の取組)を示してください。</p>	
<p>【面積】 h a</p>	<p>【取り組みの内容】</p>
<p>⑨活動の契機と経緯</p>	
<p>⑩活動の体制(組織図など)</p> <p>※協議会等の場合は、各構成団体の役割について詳しく書いてください。(別添資料でも可)。</p>	
<p>⑪年間の活動計画</p>	

3. 活動の実績

※ 応募要領9の選定基準を参考に、耕作放棄地発生防止・解消活動が地域の農地の保全や有効利用、地域農業の活性化、農業・農村の多面的機能の発揮等に果たした役割や実績をご記入願います。また、その活動に活用した国、都道府県、市町村の補助事業があればその旨もご記入下さい。

4. 特筆すべき事項

※ 耕作放棄地発生防止・解消活動で、特に、強調したい事項や他地域での実践の模範となり波及効果が期待できる事項をご記入下さい。

5. 参考資料

上記の活動実績の参考となる写真や資料を添付して下さい。

(注) 活動実績報告書の記入にあたっては、特に字数の制限はなく様式の枠にとられる必要はありませんが、活動の内容や実績等について簡潔にわかりやすく記入するようご留意下さい。

(別紙様式2)

番 号

平成 年 月 日

一般社団法人全国農業会議所

会長 二田 孝治 殿

() 農業会議

会長 印

第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業の推薦について

このことについて、耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業応募要領第8(1)に基づき、下記の団体について応募申込書及び活動実績報告書を添えて推薦致します。

記

1. 推薦団体名 ()

2. 推薦理由 (再推薦の場合はその理由も記載下さい)

3. 応募申込書及び活動実績報告書 各1通